

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
杉並区 剣道連盟	富 樫	益 田	白 石	川 村	松 尾	
	1 2 3	1 2コ 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3	2 — 0
	①メ 2 3	1メ 2 3メ	1ド 2 3 △	1 2 3	1メ 2 3	5 — 4
武蔵野市	露 木	長 谷 川	石 井	公 文	畑 邊	

創立70周年記念 令和3年度 東京都青年剣道大会

- 先鋒戦** 序盤 富樫選手 優勢 惜しい面などあったが途中 富樫選手の竹刀の先革と中結が短いと主審から注意を受け 竹刀を変更してから流れが変わってしまった。
打ち合いの末 面を取られ 1本負け。
- 次鋒戦** 互角の戦いから 1本ずつを取り合い 勝負の3本目は 益田選手の小手が有効と思われ主審は益田選手に旂が上がったが副審2人は 小手の後の相手の引き面に上がった。
後が無くなったので白石選手は積極的に果敢に攻めたが 少し相手の方が余裕があった試合運びになり 胴を抜かれてしまった。
- 中堅戦** 団体戦としては 勝負が決まってしまったが副将戦は 終始 川村選手が優勢に進めたが残念ながら 引き分け。
- 副将戦** 相手は身長2m位ある長身の上段。松尾選手は 突き 小手 面など 果敢に攻めたが面を取られ 1本負けに終わる。
- 大将戦**
- 総括** 一人一人の戦いとしては それぞれの動きも良く結果は0-4ではあるが 差はなかったと 感じます。団体戦の良い流れを掴むことができなかったのが残念。たればではあるが 富樫選手の竹刀はそれほど 気になる長さでは なかったと思うが細心の注意がなかった 監督の責任でも ありと反省します。